

事業番号	事務事業名	上齋原地域トレッキングコース整備事業費	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
04566	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	商工観光係	担当者・シート作成者	柴田 和紀
	施策名	25 観光の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	令和元年度にトレッキングコース整備事業が完了したが、補修工事や地域要望から追加の整備を行う。具体的には、赤和瀬駐車場への公衆トイレ整備や伯州山滝谷登山道の補修工事。高清水トレイル遊歩道の補修等。	健康のまちづくりを進める中で、森林の持つセラピー効果に着目し、誰もが楽しめるトレッキングコースを整備することにより、町民の健康づくりの推進及び、他の観光資源との組み合わせによる交流人口の増加を図るため。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 観光客	ア 観光入込客数	千人	見込 実績	1,065 928	1,080 925	1,100 729		
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 観光施設の利用促進	ア いっぷく亭利用者数	人	目標 実績 達成率	11,000 9,099 82.7%	11,000 9,876 89.8%	11,000 8,589 78.1%		#DIV/0!
イ	イ いつき利用者数	人	目標 実績 達成率	20,000 14,572 72.9%	20,000 13,637 68.2%	20,000 5,355 26.8%		#DIV/0!
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア ツアー実施	ア ツアーの開催数	回	目標 実績 達成率	10 0 0.0%	10 3 30.0%	10 8 80.0%		#DIV/0!
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 07	項 01	目 04	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計	商工費	商工費	観光施設費	51	90	上齋原地域トレッキングコース整備事業費					04566	
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算 (千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比
国庫支出金	44,300	41,400				-41,400	国庫支出金	44,205	41,376				-41,376
県支出金							県支出金						
町債	48,300	56,100	20,000			-36,100	町債	48,200	56,100	20,000			-36,100
その他特財							その他特財						
一般財源	3,951	2,108	14,998			12,890	一般財源	3,824	1,980	14,830			12,850
合計	96,551	99,608	34,998			-64,610	合計(A)	96,229	99,456	34,830			-64,626
財源名称	過疎対策事業債			従事正職員人数				1	1	1			
				延べ業務事務時間				500	500	500			
				人件費計(千円)(B)				1,691	1,750	1,672			-79
	最終予算額		34,998 千円	予算執行率	99.5%		トータルコスト(A+B)	97,920	101,206	36,502			-64,705
主な 支出事業内容 (予算)	手数料			15 千円			主な 支出事業内容 (決算)	手数料			15 千円		
	委託料			2,631 千円				委託料			2,630 千円		
	工事請負費			31,759 千円				工事請負費			31,593 千円		
	原材料費			29 千円				原材料費			29 千円		
	負担金			564 千円				負担金			564 千円		

事業番号	04566	事務事業名	上齋原地域トレッキングコース整備事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	---------------------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
近年、トレッキングなどのアウトドアアクティビティの人気は定着しつつあり、20代、30代の若年層の愛好者が増加傾向にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
新規事業のため、取り組みなし。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
森林の新たな活用、地域資源化に対する期待の声がある。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	健康をテーマとした新たな地域資源の創出、既存の観光施設と組み合わせた体験プログラムの開発が可能になり、観光の振興に寄与する。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	大規模な整備であり、地域住民や民間での整備は困難である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	観光客を対象としているため適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	現状や要望を精査し適切な管理を行っており、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	新たな施設整備や修繕は放置するとクレームや災害の原因となるため、廃止することはできない。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	登山道整備などに精通した業者に整備、修繕を発注しているため、改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	施設維持のため必要な整備、修繕を行っているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	職員1名で必要最小限の事務を行っているため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	観光客全体を対象としているので、公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	平成29年度から整備を進め昨年度11月に完成し本格的に供用開始した。多くの方に楽しんでいただいている反面、修繕箇所や要望が多く挙がり、今後の課題や改善点を模索していかなければならない。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 利用者の要望等を参考にしながら今後も整備を続けていく必要がある。また、観光業に対する効果についても調査をしていく。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								